1学期終業式 校長式辞

校長室だより No1

いよいよ明日から夏休みになります。1学期を振り返り、2学期に向けて計画的な夏休みを過ごしてほしいと思います。さて、4月に置農に赴任して四か月がたちました。この1学期を振り返り、校長として考えたことを少しお話ししようと思います。

6月に県のPTAの研修会がありました。そこである高校のPTA役員の方とお話しをする機会がありました。この日は農クの家畜審査競技会があった日だったので、競技会の話題になりました。家畜審査の様子をPTAの方にお話しすると、高校生が牛に触りながら審査をすることに驚き「農業高校ではこんな魅力的な勉強ができるんですね」と感心していました。皆さんのなかでは当たり前のことかもしれませんが、外の人から見ると置農の活動には驚くことがたくさんあるのだと思いました。

農業に関したことで言えば、農業実習はもちろん、農業用ドローンによる稲の直播実習や、液肥散布の見学、農業クラブの各種競技会や、意見発表会、プロジェクト発表会など、農業高校ならではの体験がいくつもあります。また、置農ファンクラブやこまつ市など地域と連携した活動も数多くありました。

置農にいればどれも日常のことかもしれませんが、置農の外から見ればどれも魅力的なことなんだと思います。皆さんが置農に入学したいと思ったとき、置農のどんなところに魅力を感じたのでしょうか。この夏休みに置農の魅力をもう一度再発見してほしいと思います。例えば、置農で勉強していること、農クの活動のこと、部活動のことなどをいろいろな人に話をしてみてはいかがでしょうか。「それはすごい」という反応があればそれが置農の魅力の一つなんだと思います。ぜひ、家族や知人、中学の後輩などに置農で自分が学んでいることや取り組んでいることを話してみてください。1学期の学校生活の良い振り返りになると思います。

最後になりますが、6月のインターハイ予選でホッケー部が北海道インターハイに出場を決めました。選手の皆さんは山形県の代表として、東北の代表として、置農の名前を全国にとどろかせてきてください。

夏休み期間中、事故に気を付け、体調を万全にして、充実した夏休みになるよう様々な活動に取り組んでください。2学期の始業式で一回り成長したみんなの姿を見ることを楽しみにして、1学期終業式の式辞とします。